

今後の国際通商制度と投資セミナー

今後の国際通商制度に向けて-TPPと将来展望 セッション2:「経済影響と地政学」

2016年7月12日

国際経済研究所

大島 正太郎

TPPの経済的・地政学的な影響

- TPPはルールに基づく多数国間貿易投資レジーム
- TPPは貿易投資分野に法的安定を強化し、地域の経済発展を促進する
- 国際経済分野での法の支配に重要な貢献
- 法の支配の強化により、国際体制全体のガバナンスの体力強化に貢献する

- TPPの地理的 カバレッジは当面、限定的
- 他方、WTOを内容的 カバレッジで補強する
 - ① WTOルールに追加する(WTOプラス)
 - ② WTOの扱っていない分野にルールを定める
例：国際投資とデジタル経済(WTOエキストラ)
- TPPは「リビング・アグリーメント」なので参加国の拡大や世界経済の変化に応じ新規分野へのルール導入を行う余地あり

- ルールに基づく体制が効果的であるためには、ルール履行のメカニズムが必要
- TPPには紛争解決制度(DS)がありWTOプラス、WTOエキストラ分野でWTO DSを補足する
- TPPには投資ルールについてDSに加えISDSもある
- TPPのDS/ISDSにより貿易投資面での法理を発展させWTO等のルールに基づく体制の深化に寄与する

- 今日、不幸にして世界各地で法の支配に対する深刻な挑戦が見られる
- TPPは世界全体に対し、結局のところ、法の支配が国際社会の全てのステークホルダーに利益をもたらすことをしめす
- さらに、法の支配は、全ての人々の自由と幸福追求の権利を保障する

- 要するに、法の支配に基づく統治（ガバナンス）によって 一国あるいは国際社会によって 真に“インクルーシブな経済”（Inclusive Economy）によって極めて重要な、公正さのある成長を確保することが可能となる
- TPPはルールに基づく国際経済体制の基盤の主要要素であるWTO等をさらに前進させる方向を指し示す